

方針と今後の取り組み

地下歩行空間を整備します

これまでの議論経過に加え、商業地域の一体化による効果、都心の再生に果たす役割の重要性などからも、この事業を今進めることが必要と考えます。

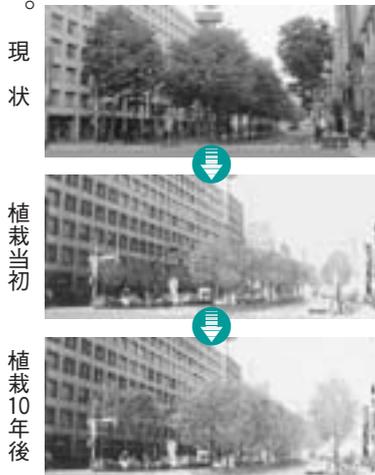
平成十七年度の工事着手に向けて十六年度に予備設計を行います。完成は二十一年度を目指します。

地上道路の車線数を減らし歩道を拡充します

これまでの市民議論などでは、駅前通の地上について車から人重視への転換が求められているため、路上駐車などの対策を進めるとともに、車道を片側三車線から二車線にして歩道を拡充したいと考えます。また、将来的に、路面電車のような公共交通機関の導入が可能な形で地上部を整備します。

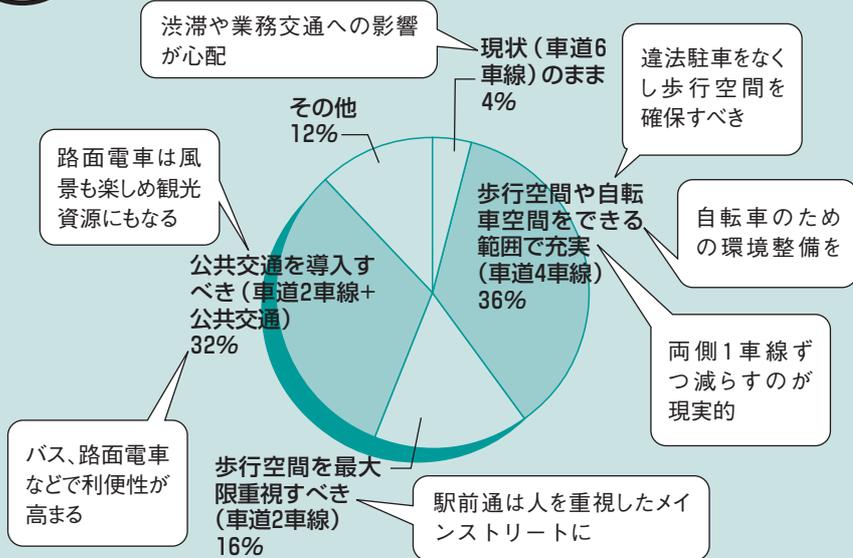
新たな樹木を植栽します

中央分離帯の街路樹の移植についておおむね理解が得られたことから、現在の樹木をほかの場所に移植し、駅前通には新たな若木を植えて並木を再生します。



若木を植えた場合、10年程度で樹高約10mの並木になります（予想による合成写真）

駅前通（地上部）の交通の在り方については？



いっしょまでの議論から

平成十二〜十四年度に行った市民意向調査やこれまでに与えられた要望では、整備に関する肯定的な意見が多くなっていることに加え、今回のワークショップでは、事業の必要性について認められたものと考えます。しかし、地上部のあり方や財政上の懸念などさまざまな意見をいただいております。事業を進める上で、検討を要する課題もあらためて認識しました。



市民議論を継続します



16年度に、地下と地上の一体的な空間づくりに向けて、その活用に関する市民意向把握など市民に開かれた議論を行いながら検討を進めます。また、沿道ビルと一体になった空間づくりについて、沿道関係者も参加して話し合いを行います。